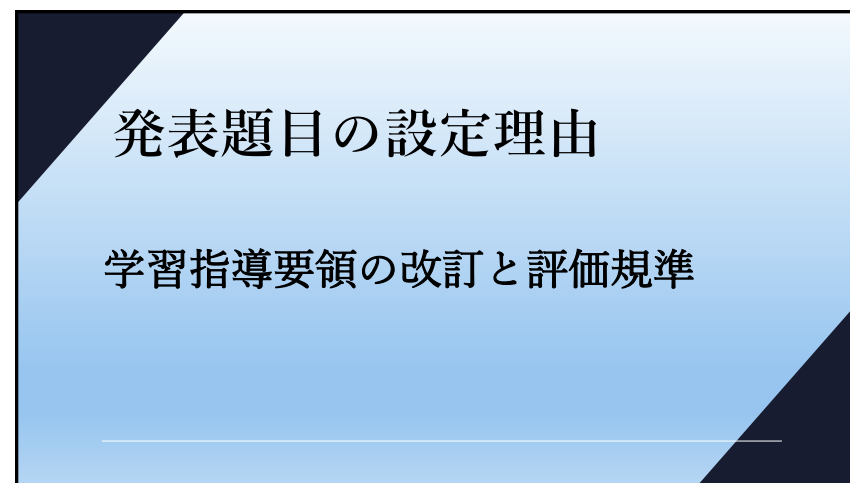
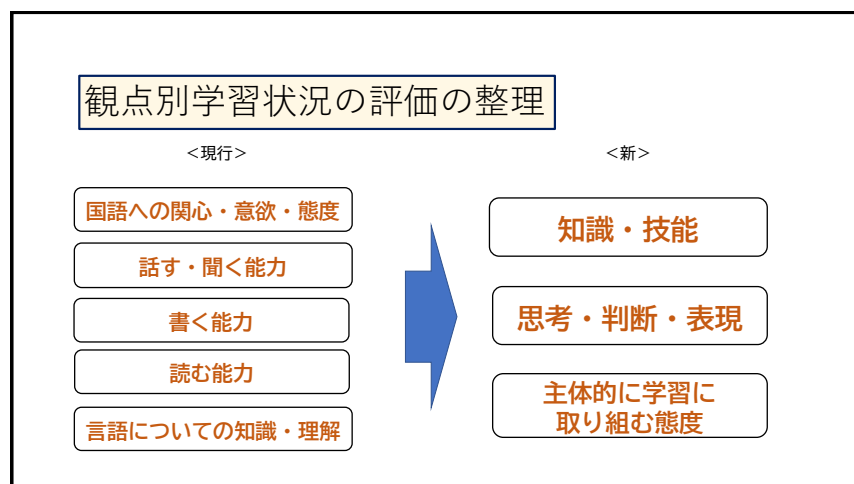




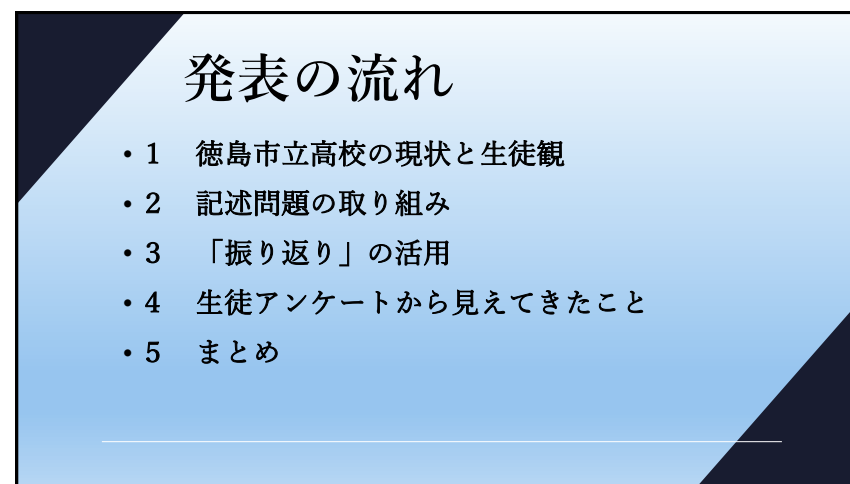
1



2



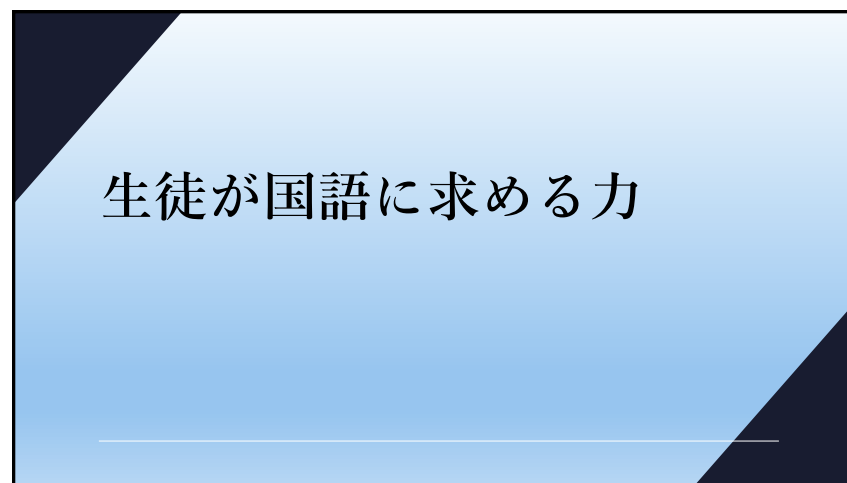
3



4



5



6

「国語力」とは何か？

- 相手に言葉で表現する力
- 物事を多面的に捉える力
- 自分の考えをうまく伝える力
- 他人の気持ちを理解する力
- 適切な言葉を選ぶ力
- 作文を書く力
- 文章を整理し、正しく読み取る力

7

「現代文」を通して身につけたい力は？

- 人との関わりの中で活用できる力
- 文章を読んで、知識や教養につなげたい
- 社会に出たとき、物事や自分の考えを説明できるようになりたい

8

「現代文」で身につけた力は役に立つか？

社会で生きていくためには、必要な力である

他者の考えを的確に理解し、吸収することで、自分の成長に繋がる

自分の意見を効果的に伝えることで、自分のアピールになる

役にたたない・・・使う場面がない 日常生活で使う言葉ではない

9

記述問題の実践と評価

10

評価の基準	満足	できたと思う。	できなかった
語句の説明とともに対義語を用いて説明している。	A	B	C
文章を読み返して、助詞を正しく使い、文のねじれがない。	A	B	C
指定の字数の80%を越え、読みやすい字で丁寧に書かれている。	A	B	C

6/10
同様の事柄や大物とは
自己との関わり
よって存在する
たどるべき道

11

解答例

交際する馬が死にそうであるというリスクを念のため、「投資」という経済活動であると考えられるから。

自分の解答

○本文の「三百目」引き取る時では倒れていて死にそうであったことが読み取れないのはなぜか。本で再度で説明してみよう。

○本文の「三百目」引き取る時では倒れていて死にそうであったことが読み取れないのはなぜか。本で再度で説明してみよう。

○本文の「三百目」引き取る時では倒れていて死にそうであったことが読み取れないのはなぜか。本で再度で説明してみよう。

12

評価方法の問題点

①添削する時間と労力に教員間で差がある。

②採点基準の統一が難しい。

生徒の相互評価・細かい採点基準の作成
MetaMojiやTeamsなどを使った提出方法
ルーブリックの改善

13

今後の評価方法の在り方について

担当教員全員で話し合い、評価方法の在り方を統一する。

同じ評価基準・ルーブリックではなく、単元ごとに改善する。

生徒自身による自己評価の扱いを担当教員全員で話し合う。

14

振り返りの実践

15

1年

※家数※
2022年5月25日

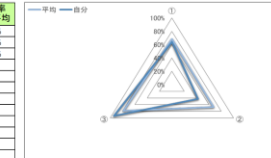
属性1

科目名	満点	得点	平均点	得点率 自分	得点率 全体平均
(国語)1年生 1学期中間考査までの振り返り	115	80	83.3	69.6%	72.4%

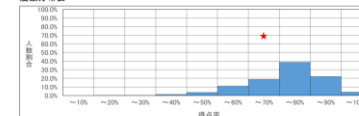
分野別結果

分野名	記点	得点	平均点	得点率 自分	得点率 全体平均
(1) 知識・技能	25	18	17.1	64.0%	68.4%
(2) 思考・判断・表現	40	17	26.9	42.5%	67.4%
(3) 主体的な態度	50	47	39.2	84.0%	78.4%
(4)					
(5)					
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					

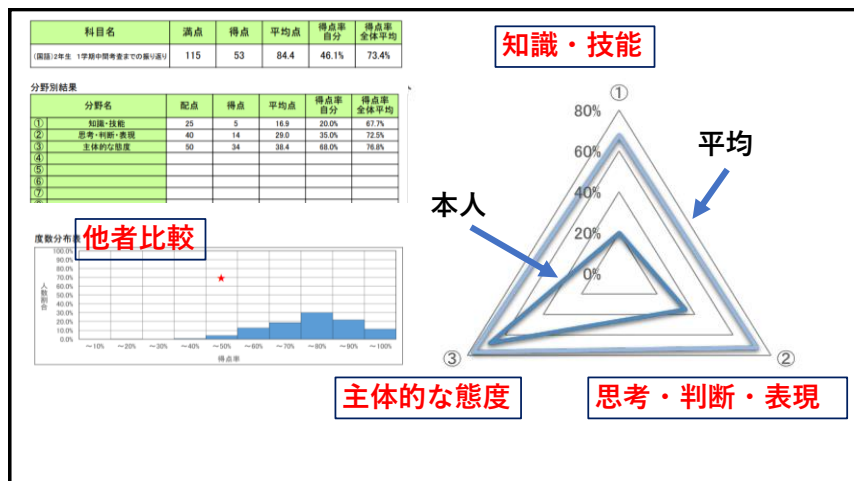
分野別得点率グラフ



度数分布表



16



17

振り返りの問題点

- アンケート結果のシートにテストの点をしていない。
- 「振り返る」ことの重要性がなかなか伝わらない。
- 成績上位の生徒は、自己評価も基本的には高く改善点が見つけにくい。
- グラフがわかりにくい。3観点が生徒に伝わりにくい。

18

振り返りでの自己評価について

- 自己評価が低い生徒や、自己評価が難しい生徒がいる。
- 自己評価は、生徒の実態に沿っていないことも多い。
- 授業の時間数や時間割によって、実施できないこともある。

19

生徒アンケート

- ・評価してほしい点

20

「知識」を何で評価してほしいですか？

1年

- ①漢字の小テスト
- ②語句の意味の小テスト
- ③宿題の提出率

2年

- ①語句の意味の小テスト
- ②漢字の小テスト
- ③授業中の記述問題の評価

21

「思考力・表現力」を何で評価してほしいですか？

1年

- ①授業中の記述問題の評価
- ②要約文の評価
- ③作文の評価
記述問題に取り組む態度

2年

- ①授業中の記述問題の評価
- ②要約文の評価
- ③ペアやグループワーク
の教え合いの態度

22

「自ら取り組む態度」を何で評価してほしいですか？

1年

- ①授業中の態度
- ②宿題の提出回数
- ③記述問題に取り組む
態度

2年

- ①授業中の態度
- ②記述問題に取り組む
態度
- ③宿題の提出回数

23

まとめ

24

「観点別評価」実践の気づき

「評価の記録」を残すことによる負担増。

「評価」に対する学校や教員間での考え方の違い。

「自己評価」の扱い

参考 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』国立教育政策研究所

図1年次計画・マネジメントの一環としての指導と評価
「主体的・対話的で深い学び」の観点からの授業改善と評価

25

評価の方法を話し合い、改善していく

何のために だれがだれを

いつ どのような方法で 何を評価するのか？

話し合いの充実 目的・方法の明確化

26

教員の負担 評価の不明瞭さ

話し合いの充実 目的・方法の明確化

生徒の学習改善 学力の向上

27

終わります。
ご清聴ありがとうございました。

28